

# 決算に対する討論の概要

令和2年度決算（一般会計、3特別会計および公共下水道事業会計）に対し、6名の議員がそれぞれ所属する会派を代表して討論を行いました。その概要は次のとおりです。

（金額の単位は円）

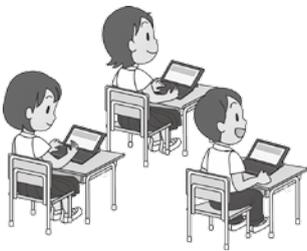
会計名	歳入決算額	対前年度伸率	歳出決算額	対前年度伸率	歳入歳出差引額
一般会計	66,898,654,615	42.9%	64,070,276,807	40.9%	2,828,377,808
特別会計	23,055,427,792	3.0%	21,925,555,175	1.9%	1,129,872,617
国民健康保険事業	11,811,949,929	△ 3.0%	11,656,295,591	△ 3.9%	155,654,338
介護保険事業	9,339,920,849	10.1%	8,371,407,215	8.6%	968,513,634
後期高齢者医療事業	1,903,557,014	11.0%	1,897,852,369	13.5%	5,704,645
企業会計					
公共下水道事業	3,827,046,602	△ 6.1%	4,422,817,367	△ 5.6%	△ 595,770,765
合計	93,781,129,009	28.0%	90,418,649,349	26.1%	3,362,479,660

## 政進会

賛成

### ○全会計の決算に賛成

▽厳しい社会情勢下でも良好な財政状況が堅持されたと高く評価しています。▽自主財源比率の大きな低下は、コロナ禍関連事業の影響であり、これを除けば例年並みです。▽市債は特例債の借り入れで残高が若干増加しましたが、市民1人当たりの残高は減少し、県内16市で最少を堅持しました。基金はコロナ禍対応で財政調整基金を取り崩したものの、最終的には特例債の借り入れで一定の残高を確保して、先の見通せない状況に機動的に対応できる備えとしており、いずれも評価しています。▽市債と基金は今後のまちづくりの貴重な財源ですが、非常時とも言える現状では、これらの積極的な活用が必要だと認識しています。▽令和2年度は新総合計画えびな未来創造プラン2020がスタートし、ハード、ソフト両面で新たなまちづくりが力強く推進されました。▽海老名駅西口地区で道路や消防署西分署などを整備し、地区の基盤強化を図ったことを高く評価しています。▽有馬図書館と門沢橋コミセンの大規模改修工事により、2施設が効果的に一体活用でき利便性が向上しました。▽わが会派からもその加速を求めた、市内の小中学校教育の情報化を推進するGIGAスクール構想では、各校に高速大容量の通信ネットワークと1人1台のタブレット端末などが整備されました。オンライン教育による不登校の子どもなどへの学習機会の確保など、効果的な活用を期待しています。▽スクールライフサポートの要件緩和や遡及対応により、コロナ禍で家計が急変した家庭をサポートしたことは高く評価します。▽プレミアム付商品券の発行や、中小企業等事業継続支援金の支給で、市民生活を守り地域経済の活性化が図られたと認識しています。



## 公明党

賛成

### ○全会計の決算に賛成

▽令和2年度を振り返りますと、3月下旬から拡大し始めた新型コロナウイルス感染症に対し、政府は4月7日緊急事態宣言を発令し、現在は第5波の感染者数が減少傾向となり、10月1日には全ての地域で緊急事態宣言が解除されます。ワクチン接種が進んでいるとはいえ、第6波が心配です。まさにコロナ感染症に振り回された年でした。▽このような中、令和2年度の予算が執行され、感染症での混乱という、おそらく誰もが経験したことがない状況の中で、小中学校の臨時休業や公共施設の閉鎖などが、先が見えない状態での市政運営に追い打ちをかけました。国の相次ぐ補助事業に対し、多くの自治体が専決処分に対応するのに対し、内野市長は議会の理解を得た上で執行したいとの思いから、これまでにないほどの臨時会を招集されました。常に議会での理解を優先される内野市長の姿勢には敬意を表する次第です。▽令和2年度では、数多くの計画的な事業や突発性の高い事業が執行されました。そのような中でも、ワクチン接種事業や感染者の支援など、マスコミが取り上げるような全国的にも先進的な取り組みを海老名市は行ってきたと自負しております。▽まちづくり事業では、門沢橋コミセン・有馬図書館の大規模改修や防災強化のための消防署西分署の開署などがあげられます。▽ソフト面では、コロナ禍で疲弊する市内業者の支援や市民を対象にプレミアム付商品券の発行、全市民を対象とした国からの特別定額給付金の迅速な支給などがありました。▽コロナ禍で一時的に止まざるを得ない部分があったと思いますが、予測不能のことだと思います。予測不能のことではありますが、ぜひ次の50年を見据えた市政運営に期待します。

